BARNES & THORNBURG LLP



速報

移民法アップデート：インドからの渡航制限、生体認証要件の一時停止、H-1B訴訟の判決

2021年5月6日

ハイライト

COVID-19とその変異種の急増により、インドが米国の渡航制限対象国のリストに追加され、渡航許可を得るのは困難になっています。

米国市民権移民局（USCIS）は、2021年5月17日から2年間、一定のI-539申請者に対する生体認証（指紋）の要件を一時的に停止する見込みです。

最近の連邦訴訟の結果、誤って却下されていたH-1Bの申請が受理されます。

渡航制限や一定のビザの要件変更、H-1Bビザ抽選に関する重要な判決など、バイデン政権や米国市民権移民局（USCIS）に関連して、移民法をめぐる動きが活発になってきています。

詳しくは英語版をご覧ください。

©2021 Barnes & Thornburg LLP. All Rights Reserved. 書面による許可なく複製することを禁止します。

本ニュースレターは、法律の最新情報、動向をご案内するものであり、いかなる場合も法務サービス、法務アドバイスの意味を持つものではありません。本ニュースレターは、一般的な案内目的でのみ配布されるものですので、個々の

弁護士



テージャス シャー
パートナー
シカゴ

P 312-214-5619
F 312-759-5646
tejas.shah@btlaw.com



メルセデス バディア - タバス
パートナー
シカゴ

P 312-214-8313
F 312-759-5646
mbadiatavas@btlaw.com



サラ J. ホーク
パートナー
アトランタ

P 404-264-4030
F 404-264-4033
Sarah.Hawk@btlaw.com

関連分野

COVID-19リソース
労働雇用法
移民法＆国際人事

フィンテック

問題については弁護士までご相談下さい。